

東京都社会福祉協議会「低所得世帯の若者の支援プロジェクト」について

目的

施設を退所する若者と同様に、家庭からの支援が十分に得られない若者への支援を構築することを目指し、中学～高校生の年齢層（13歳～18歳）の若者の相談支援のあり方を検討することや、若者やその保護者を支援するためのプログラムや小冊子を作成し、地域でプログラムを提供できる取組みを広げていく。

低所得世帯の若者への支援プロジェクト（仮称）

<検討項目> ※福祉関係者、自立支援の団体、教育関係者による横断的なプロジェクトを設置する。

- (1) 低所得世帯における世帯状況と支援ニーズの把握
- (2) アセスメントと相談支援につなげる仕組み
- (3) 生きる力を共に育てるノート
- (4) 保護者への応援冊子

委員の構成

- * 学識経験者
- * 地域若者サポートステーション
- * 自立支援団体
- * リービングケア委員会（部会）
- * 福祉事務所
- * 社協（地域担当・生活福祉資金担当）
- * 学習支援団体
- * 定時制高校
- * 学校関係者

<支援の対象>

低所得世帯の
若者への支援

若者への相
談支援の
ノウハウ

自立支援
の
ノウハウ

自立支援
の
ノウハウ

施設等退所者支援団体等

施設退所者向けの自立支援プログラムを低所得の若者に応用

福祉事務所

生活保護世帯における自立支援の取組みを、地域の若者層に応用

定時制高校

区市町村社会福祉協議会

生福貸付世帯の対象者を支援につなげる
地域の若年層への伴走型相談支援
プログラムの実施

学習支援団体

学習支援団体の充実強化
プログラムの実施

地域若者サポートステーション

地域若者サポートステーションにおける若者
への相談支援のノウハウや学校との協働について応用
プログラムの実施

サポート校

事業展開のイメージ

関係機関のヒアリング

内容

- ・ 支援の対象となる層をどのように把握し、支援に結びつけるか検討する。
- ・ 支援ニーズを明らかにし、プログラム・小冊子を作成し広げていくための参考にする。

対象

区市町村社協をはじめとしたプロジェクトメンバー

実施時期

平成 25 年 5 月～7 月

低所得世帯の若者をどのように把握し、支援に結びつけるか検討する

支援ニーズを把握する

アセスメントと相談支援につなげるしくみ (～H27)

学校、社協、地域若者サポートステーション、学習支援団体で使用

生きる力を共に育てるノート (H25)

学校、社協、地域若者サポートステーション、学習支援団体で使用

親への応援冊子 (H26)

学校等で配布

平成 25 年度「低所得世帯の若者への支援プロジェクト」年間スケジュール

事業概況	年度目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
＊プロジェクトの設置 ＊把握と支援、ニーズ把握のためのヒアリング ＊プログラムの作成	(1) 関係機関による活用を見据えた本人向けのプログラムを開発する。 (2) 発見とアセスメントに焦点化し、支援ニーズを発見できるしくみと発見したニーズへのアプローチのあり方を整理する。	前年度PJのまとめ	PJメンバー調整			PJ①		PJ②		PJ③		PJ④	ヒアリング結果報告書
					「支援ニーズ」「それに対するアプローチの視点」をヒアリング			ヒアリングをもとにしたノート開発					ノート作成